

V 授業時間割と履修計画

1. 履修計画の立て方

学生は、所属する学部の卒業要件を満たす単位を修得しなければなりません。また、進級要件が定められている学部においては、所定の年限までにそれを満たす単位を修得しなければなりません。従って、それらの要件を満たしうるように、全学教育科目や各学部が開講する学部科目の履修計画を立てる必要があります。それにとどまらず、各自の修学の目的や学問的な関心に応じて十分と思われる勉学を行うことができるように、主体的な判断に基づいて、履修計画を立てるよう心掛けることが重要です。

[履修計画の検討の手順]

- ① 本冊子の「X 学部・学科別授業科目区分ごとの履修基準一覧（2022年度入学生用）」（29ページ）及び各学部の学生便覧で履修要件を確認
- ② 本冊子の「XI 各授業科目及び履修に関する注意事項」（74ページ）で、各科目を確認
- ③ 『全学教育科目授業時間割表 COURSE TIMETABLE』の「授業時間割A表」で、所属学部向けに開講されている曜日・時限ごとの大まかな科目区分を把握
- ④ 「授業時間割B表」で各授業科目の科目名、担当教員及び講義室等を確認
- ⑤ 「全学教育科目授業要覧（SYLLABUS）」でそれぞれの科目の授業内容等を確認し、履修したい科目を確認

[注意事項]

- ・ 各学部の卒業要件を満たす単位を在学中に無理なく履修できる機会を全ての学生に保証するため、あるいは各授業科目の目的や内容によっては段階的な履修が必要になるため、全学教育科目の時間割表は受講できる学部・クラスを指定することを前提として作成されています。このため、履修計画を立てる際は、「学部またはクラス指定の授業科目」を選択してください。
- ・ 下位年次生が上位年次生の授業科目を履修することは原則としてできません。
- ・ 同一科目を2回以上履修し、試験に合格しても、卒業要件単位としてはそのうち1科目しか認められません。ただし、言語文化科目については複数科目が卒業要件単位として認められる場合があります。

2. 全学教育科目の授業時間割表（COURSE TIMETABLE）について

(1) 授業時間割表（A表）

2022年度の全学教育科目及び各学部の学部科目の開講時間帯を概略的に表示したものです。

(2) 授業時間割表（B表）

- ・ 2022年度に開講する具体的な授業時間割（授業科目、担当教員、学部・クラス指定、講義室など）を、期・曜日・時限ごとに表示したものです。
- ・ 授業時間割表（B表）のすべての授業科目には「時間割コード」が付してありますが、このコードは履修手続きを行う際に必要となります。
- ・ 各曜日・時限に開講される授業科目は毎年度新たに生まれ、それに伴い、時間割コードも毎年変わります。

- 学部指定オビ以外（注）に開講される言語文化科目は、対象学部が「全学部」として表示されています。

（注）「オビ」：時間帯（一つの曜日・時限）

「学部指定オビ」：所属する学部，学科の指定がされている時間帯

「学部指定オビ以外」とは，学部，学科の指定がされていない時間帯

【授業時間割表（COURSE TIMETABLE）参照方法】

※詳細は 26 ページ 「IX 学生への情報連絡の手段等」を参照してください。

① 名古屋大学ポータル (<https://portal.nagoya-u.ac.jp/>) にログイン

② 「教養教育院」をクリック→教養教育院からのお知らせ，学生メニュー等に記載

名古屋大学 ID 配付前は，[教養教育院ホームページ](https://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/) (<https://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/>) - 「お知らせ」から確認してください。

3. 全学教育科目授業要覧（SYLLABUS）について

全学教育科目授業要覧（SYLLABUS）では，授業科目ごとに，担当教員名，授業の目的，達成目標，履修上の条件，授業内容，成績評価の方法，教科書，参考書などを表示しています。履修計画の作成に活用してください。

【全学教育科目授業要覧（SYLLABUS）参照方法】

※詳細は 26 ページ 「IX 学生への情報連絡の手段等」を参照してください。

① 名古屋大学ポータル (<https://portal.nagoya-u.ac.jp/>) にログイン

② 「学務」→「履修・成績」→「シラバス」をクリック

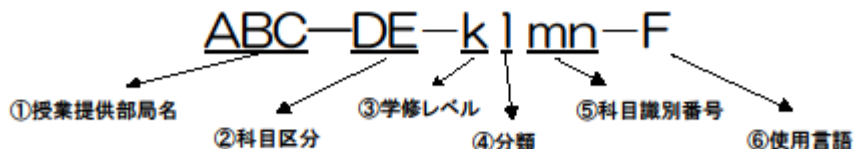
名古屋大学 ID 配付前は，[教養教育院ホームページ](https://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/) (<https://www.ilas.nagoya-u.ac.jp/>) から確認してください。ただし，教養教育院ホームページのシラバスは簡易版で，授業の内容の詳細，成績評価基準，授業担当教員の連絡先等が掲載されていないことに留意してください。

4. コースナンバリング

名古屋大学全学教育科目のコースナンバリング・コードについて

カリキュラムの体系性を明示し、国際通用性を高めるため、全学教育科目の各授業科目を以下のように10桁の英数字で表しています。

学生のみなさんは、全学教育科目を体系的に履修するために役立ててください。



①授業提供部局

教養教育院が提供する全学教育科目：LAS

②科目区分

| | |
|----|----------------------|
| FS | 基礎セミナー・大学での学び 基礎論 |
| LC | 言語文化科目 |
| HS | 健康・スポーツ科学科目 |
| DS | データ科学科目 |
| GL | 国際理解科目 |
| CL | 現代教養科目 |
| PB | 超学部セミナー |
| BH | 人文・社会系基礎科目 |
| BN | 自然系基礎科目 |

③学修レベル

| | |
|---|--------------|
| 0 | 全学教育科目基礎的レベル |
| 1 | 全学教育科目発展的レベル |

④分類

| | | |
|--------|---|--------|
| 言語文化科目 | 1 | 英語 |
| | 2 | ドイツ語 |
| | 3 | フランス語 |
| | 4 | ロシア語 |
| | 5 | 中国語 |
| | 6 | スペイン語 |
| | 7 | 朝鮮・韓国語 |
| | 8 | 日本語 |
| | 9 | 上記以外 |
| 現代教養科目 | 1 | 人文・社会系 |
| | 2 | 自然系 |
| | 3 | 学際・融合系 |

※上記以外は9(新カリキュラム)

⑤科目を識別するための番号

⑥使用言語

| | |
|---|---------|
| J | 日本語 |
| E | 英語 |
| B | 日英2言語併用 |
| O | その他の言語 |